

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年2月5日(2025.2.5)

【公開番号】特開2024-137483(P2024-137483A)

【公開日】令和6年10月7日(2024.10.7)

【年通号数】公開公報(特許)2024-187

【出願番号】特願2023-49018(P2023-49018)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和7年1月28日(2025.1.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域が形成された遊技盤と、

前記遊技領域に設けられ、遊技球が入球可能な始動口と、

前記始動口への遊技球の入球を契機として当否判定を実行する当否判定手段と、

前記当否判定の結果を示す特別図柄が変動表示および停止表示される特別図柄表示装置と、

前記遊技領域に設けられ、前記当否判定手段による当否判定の結果に応じて開放されて遊技球が入球可能な大入賞口と、

前記当否判定手段による当否判定の結果が当選である場合、前記大入賞口の開放を伴う特別遊技を実行し得る特別遊技実行手段と、

30

演出表示が表示される演出表示装置と、

演出音声が出力される音声出力装置とを備え、

変動表示中において所定の文字を表示する変動中文字演出を実行可能であり、

エラーの発生中において規定の文字を表示するエラー中文字演出を実行可能であり、

所定の変動中文字演出において表示可能な文字色として、複数色で構成される模様で表される特定色を少なくとも有しており、

所定のエラー中文字演出において表示可能な文字色として、特定色を有しておらず、

特別遊技の実行中、前記大入賞口へ遊技球が入球することで遊技者に付与される遊技価値数の累積値が特定値に到達することを契機として、遊技価値数の累積値が前記特定値に到達したことを示す特定値対応表示を表示可能であり、

40

特別遊技の実行中、所定のエラー中文字演出と特定値対応表示とを同時に表示可能であることを特徴とする、ぱちんこ遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

このような目的達成のために、本発明に係るぱちんこ遊技機は、遊技領域が形成された

50

遊技盤と、前記遊技領域に設けられ、遊技球が入球可能な始動口と、前記始動口への遊技球の入球を契機として当否判定を実行する当否判定手段と、前記当否判定の結果を示す特別図柄が変動表示および停止表示される特別図柄表示装置と、前記遊技領域に設けられ、前記当否判定手段による当否判定の結果に応じて開放されて遊技球が入球可能な大入賞口と、前記当否判定手段による当否判定の結果が当選である場合、前記大入賞口の開放を伴う特別遊技を実行し得る特別遊技実行手段と、演出表示が表示される演出表示装置と、演出音声が出力される音声出力装置とを備え、変動表示中において所定の文字を表示する変動中文字演出を実行可能であり、エラーの発生中において規定の文字を表示するエラー中文字演出を実行可能であり、所定の変動中文字演出において表示可能な文字色として、複数色で構成される模様で表される特定色を少なくとも有しており、所定のエラー中文字演出において表示可能な文字色として、特定色を有しておらず、特別遊技の実行中、前記大入賞口へ遊技球が入球することで遊技者に付与される遊技価値数の累積値が特定値に到達することを契機として、遊技価値数の累積値が前記特定値に到達したことを示す特定値対応表示を表示可能であり、特別遊技の実行中、所定のエラー中文字演出と特定値対応表示とを同時に表示可能であることを特徴とする。

10

20

30

40

50